

# 悪魔城UP0 混沌たる ロールプレイ

ダンボール侍

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

幼い頃からさまざまなゲームに親しんできた主人公、そのなかでも特に憧れたリヒターになるべく戦います。

# 目次

最強のベルモンドを目指して	1
さまざまなアーツを目指して	5



## 最強のベルモンドを目指して

俺は、ガキの頃からニンテンドーや、コナミのゲームが大好きだ、メットロイド、パリオ、大混戦スマートブラザーズもよくやった。上手くはなかったけど。

でも一つだけとてつもない憧れを抱かせた、それは悪魔城ドラキュラXが主人公、リヒター・ベルモンド。最強（笑）とか、首元が閉まるのが嫌いとか言われるけど、あの背景、音楽、キャラ。すべてが俺を惹きつけた。

そこから俺は体を鍛え、鞭を練習した。腕前はというと先端でクルミを割れるほどのコントロールになった。

ただ、一つ足りないものがあつた。それは魔力だつた。

人間にそんな力はないし、願つても手に入らない。しかし、それは意外な形で叶うことになった。

それはUPO（銀鈴さんの作品に出てくるVRゲーム、超おもしろい）、なぜそれに出会ったかというと、動画を暇だから動画を見てみるとミステイニウム開放線、と言う動画をみた。そこで目にしたのは、圧倒的力を振るうロールプレイヤー、名も知らぬキャラではあつたがその作り込み、楽しんでる姿、そのすべてが俺をここならリヒターに

なれるんじゃないか！という強い妄想に駆り立てた、そこで俺はゲームを買い、設定画面に飛び込むのだった……

そこで最初に耳にしたのは「ようこそ『Utopia Online』の世界へ先ずは、あなたの名前をお教えください」

へえ！すごいもんだな！最近の技術は、親父のオンボロパソコンでゲームしてたときと大違いだ！

おっと、脱線してしまった。

名前は無論 リヒターだな、キャラメイクは大きく変えられないのか、ならリアルの体型そのままで行こう。（リアルの体型は身長178センチ体重75の恵体）んで、職業は聖職者でいいか、んでんで？ステータスを振れか、ならリヒターなら力と技に特化してて、スピードはまあまあだからな、アーツでスピードは補うか。

服は…… まともなのがないな、聖職者だからか、なら基本の服だけで行こうかな、装備は後でつくろう。

さてあとはポイントを振るだけだな、振れるのは200か、やわらかリヒターを再現しつつも将来はハイドロストオオオオムって叫びたいからINTも振つところ……

あとはスキルか、ここは投擲術、タックル、短剣技、聖属性強化と、最後はアイテム

拡散？ スキルのテキストをよんでみると、アイテムの効果が増えますとあった、これはつかえそうだな。よし準備もできたしいくぜ！

開始時ステータス

Str : 100      Dex : 0  
V it : 10      A g l : 10

装備 初心者短剣

平民の服

I n t : 80      L u k : 0

M i n : 0

スキル 短剣技 投擲術 聖属性強化 アイテム拡散 タックル

光に包まれログインすると、目の前には匂い、感覚、資格、すべてがホンモノ同然の世界だった。

よし、いまから何をしようかな、まずはハチマキと青い装束を買うために狩りにいくか。

ふう、足おつそいなあ、ダッシュでこれかよ、タックルのマネでもしながら行くか。やっとなつたぜ、そこで探索を少しするとウサビルという小型のモンスターに遭遇し

た、角の生えたうさぎで、突進を主にする敵だったが、弱かったので、瞬殺できた。でも俺はやわらかりヒター、先程のアンブツシユで一撃で瀕死にされた。なんとか一撃もらったあと休憩していると近くで声が聞こえてきた。見てみると、なんとその人はかの極振りユキ（原作参照）であった。なんだあのクソ火力、弱すぎじゃね？でもやはり極振りだな、相手なんも出来てない、ああ可愛そう。そこで俺は極振りは人間ではないと感じ、奴らには関わるべきではないとおもったのだった。

しばらくあと、俺は金稼ぎを済ませ、青い装束を買い、ハチマキを巻いた。幸い俺は攻撃高めだからレベル上げは楽だった。そして、準備は整った、ハチマキをしめ、腰に鞭を携え、最初の地に立ち、特に理由もなく叫んだ！

ハイドロス

トオオオオオム  
!!!!!!



## さまざまmanaアーツを目指して

最強のベルモンドが誕生したことを示すために雄叫びを上げたあと振り向くと。!!・・・誰だ？つぶやく儂げな美青年がいた。このゲームでは外見も体格も大きくはいじれないので、よほどの美青年ではなければこのロールプレイはできないのにこの完成度、その声の正体はアルカードだった、悲運の貴公子、人間離れした容姿と呼ばれる悪魔城シリーズでも特に印象深いキャラであった。ここでロールプレイで返さぬのは失礼と思い返した。開け、冥界の門よ、いでよ、我がしもべよ！彼はこう言う。

この地の匂い、貴様まさか?!? 最後にキメて言う 我が城を汚すハエを叩き潰せーと完璧な完成度でキメた。あとはもう心で繋がりの間にか手を取り、俺はリヒターになりたい男、あんたは？と聞いた。プレイヤーネームはアルカード、お前と同じく完璧なロールプレイをを目指すものだ。しかしあんたもすごい完成度だ、リアルでも鍛えてるんだな。

そうだな、ついでに鞭の練習もしてるからスキルいらすだ。

流石だな、リヒターを目指すならしなくちゃいけないな。そこまでするやつなら悪いやつなわけないな。フレンドになってくれ。

もちろんだ！こんな人に出会えるとは、ゲームは最高だな！

（トントントン 拍子

に進みますが、心がつながる瞬間はあるものです）

その日はフレンド登録したあとは、ログインし、眠りにつくのだった。

後日ログインした俺は、ロールプレイを高めるためにある特訓をすることにした。それは、タツクルの練習である、若干の無敵時間と攻撃判定を持った攻守整った汎用技。体の周りにエフェクトがでて、それに攻撃判定があるのだが、いかんせん再現が難しい。なんせ、エフェクトがどうやって出ているのかわからない、どう再現したものか：

そうだ！剣をアジール（ロックマンのボス）みたいに動かして攻撃しながらタツクルを使ってみよう！

そこからはひたすら練習だった。ウサピルに突撃してはカシヤン。という音をたてリスポーンし、ときに成功し回避しながら斬りつけることに成功し、練習の夜は更けていった……

もう何体目かわからないウサピルを倒したとき、通知音が鳴った。

タツクルが派生条件を達成しました、派生は以下の通りです。

タツクル・攻 無敵時間短め、 s t r l l 0 %ダメージ a g j 5 0 0 0 0 固定  
タツクル・速 無敵時間最大、 s t r 9 0 %ダメージ a g i 5 0 0 0 0 固定

このような選択肢であつた。

うーん、速が良さそうだけど、攻も気になるなあ。

でもロールプレイにこだわるなら速だな、タツクルで高速機動、からの多段ハイドロ  
ストームが基本だし。

しばらく考えた後に速を選択し、試しうちしてみる。

音やエフェクトは設定できたのでおなじみのエフェクトにして、やってみると。

うお！すごいぜ！これはもうリヒターでは（・▽・）ニヤニヤ  
となり早速試すべく、エリアボスに挑むのであつた。

現在のステータス

レベル 18  
 HP 2300  
 MP 2400

Str : 250      Dex : 20

Vit : 100      Agl : 20

Int : 80      Luk : 0

Min : 0

スキル

タツクル・速      短剣技

投擲術      聖属性強化

アイテム拡散

武器 聖なるムチ      聖属性

サブ 初心者の短剣

防具

頭 リヒターっぽいハチマキ      MP増加

体 蒼き装束      str+40      vit20

手 蒼き小手 以下同文

脚 蒼き袴 以下同文

靴 丈夫な革靴 グリップ強化 ジャンプカダウン（微）

アクセサリ 聖なる十字架 カルマ特攻（カルマ値や闇に近い敵にダメージ＋10%  
聖属性をもつ敵に－10%）

次話投稿 編集 結合 履歴